

平成26年第10回定例教育委員会

平成26年10月29日(水)午後2時00分
江別市教育庁舎 大会議室

出席者	委員長	長谷川	清	明	説明員	教育部長	齊	藤	俊	彦
	委員	上	野	聡		志	教育部次長	渡	部	丈
	委員	郷		早	見	学校教育支援室長				
	委員	橋	本	幸	子		苺	谷		正
	教育長	月	田	健	二	総務課長	大	村	勇	二
						総務課参事	三	富	一	義
						学校教育課長	伊	藤	忠	信
						学校教育支援室参事				
							浦	田	和	秀
							金	子	武	史
						給食センター長	福	井		洋
						対雁調理場長	鈴	木	正	春
						生涯学習課長	岩	渕	淑	仁
						生涯学習課主幹	佐々	木	倫	子
						情報図書館長	原	田	昭	彦
						郷土資料館長	小	林	則	幸
					記録員	総務課総務係長	近	藤	澄	人
					傍聴者	1名				

1 報告事項

- (1) 平成27年度予算編成方針について
- (2) 大麻体育館耐震診断結果について

2 審議事項

- (1) 平成26年議案第49号
江別市教育委員会教育長の勤勉手当の支給割合引上げに係る意見について
- (2) 平成26年議案第50号
江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問について

3 その他

- 各課所管事項について
 - (1) 中学生サミットの開催について
- 次回教育委員会予定案件について
- 平成26年第11回定例教育委員会の日程について

会 議 録

長谷川委員長

(開会)

それでは、ただいまから、平成26年第10回定例教育委員会を開会いたします。
本日の議事日程は配付のとおりであります。

会議に先立ち、本日の会議録署名人を橋本委員さんをお願いいたします。

斉藤教育部長

それでは、議事に入ります。1の報告事項(1)平成27年度予算編成方針についての報告を求めます。斉藤教育部長お願いします。

平成27年度予算編成方針について、報告申し上げます。去る10月10日の拡大庁議を経て、市長から示されたもので、資料に記載の内容は市のホームページでも公開されておりますので、私から、特徴的な事項について申し上げます。

初めに資料1ページ、総論であります。国内景気は緩やかに回復していくことが期待される状況にあるものの、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れなど、景気を下押しリスクに留意する必要があるとしております。その上で、国はデフレ脱却と経済再生への道筋を確かなものにしていくために、人口急減・超高齢化に対応し、持続的・安定的な成長を目指すとしております。

また、地方財政については、「中期財政計画」に定められた方針に基づき、必要な地方の一般財源総額を確保しつつ、できる限り早期に地方財政の健全化を図るとしてあります。

平成27年度は、えべつ未来づくりビジョン<第6次江別市総合計画>の2年次目になります。そうした中で、現在、国において創設を検討している地方創生交付金の活用を視野に入れた事業を検討するとともに、女性、高齢者、若者の人材確保に向けた就労支援に重点的に取り組むこととの指示がなされております。

そして、毎年のごとくですが、厳しい財政状況の続く中で事業の内容を評価して、既存事業の見直しや新たな財源確保が強く求められているところであります。

なお、27年度は、市長選挙がありますことから、いわゆる骨格予算となりますが、国の政策との関連から当初予算での措置が必要なものは準備を進めることとされております。

次に、政策の基本方針といたしましては、えべつ未来づくりビジョンのまちづくりの基本理念に掲げた「安心して暮らせるまち」、「活力のあるまち」、「子育て応援のまち」、「環境にやさしいまち」の4つの柱と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえながら、政策形成を意識することとされております。また、基本理念に基づいたまちづくり政策を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を政策の中核に据えて推進するとされております。

市長からは、いくつかの指示がありました。一つには、基本的に骨格予算となるが、政策的な予算事業であっても、市経済の停滞を招いたり、市民が事業の減速感を感じたりすることのないよう継続して予算要求すること。

二つには、人口減少を抑えるには雇用の創出が重要になってくるが、常勤的な雇用の創出には時間がかかるので、女性や高齢者の雇用の場を作り出すことが当面の目標になり、そのためには教育や子育て環境の充実も求められること。

三つには、国や道の補助金を活用することについては、特に、現在国が進めている「まち・ひと・しごと創生本部」のアイデアにうまく乗れるものがあれば、市の事業を加工して補助事業に乗せるという積極的な意識を常に持ってもらいたいなどの具体的な指示がありました。

2ページの重点事項(えべつ未来戦略の推進)は、①ともにつくる協働のまちづくり、②えべつの将来を創る産業活性化、③次世代に向けた住みよいえべつづくり、④えべつの魅力発信シティブロモートとなっており、教育部としては、①ともにつくる協働のまちづくりと③次世代に向けた住みよいえべつづくりに関わっております。

3ページの基本方針以降は説明を省略させていただきますが、最後の10ページにあります平成27年度の予算編成事務日程は、現時点での予定として、11月5日が経常経費予算要求書提出期限、11月25日が臨時経費予算要求書提出期限、12月16日と17日が重要事業理事者ヒアリング、年が明けて1月29日に予算案内示、30日に予算案が確定いたしまして、2月6日に予算記者発表を予定されております。

これに対応する教育委員会の関係では、11月に予算要求方針等をお諮りし、12月には予算要求案に関する主要事業等を、2月には査定された教育予算全体と主要事業、来年

齊藤教育部長	<p>度の教育行政推進計画をお諮りする予定で考えています。</p> <p>以上が予算編成方針と今後の日程に関する概要であります。教育委員会といたしましては、学校耐震改築など、大規模な建設事業が続くこととなります。さらには、学校体育館のバスケットゴールなど非構造部材の耐震化のほか、社会体育施設の耐震化も迫られていますので、改築や補修にかかる経費は相当大きな額になってくると考えております。また、ソフト面でも、学校教育や生涯学習の充実が一層求められていると考えております。</p>
長谷川委員長	<p>予算要求事務は、新たな「まち・ひと・しごと創生本部」の交付金事業の動向も念頭においた形で進める必要があります。過密なスケジュールとともに別な難しさも加わることとなりますが、江別市の教育政策の柱である「豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実」を着実に実現するべく、教育行政進展に向けた予算となるよう鋭意努めてまいりたいと考えております。以上であります。</p> <p>ただいま報告のありました平成27年度予算編成方針について、質問等がございましたらお願いします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、本報告について終了してよろしいですか。</p> <p>(一同了承)</p>
岩渕生涯学習課長	<p>次に、報告事項(2)大麻体育館耐震診断結果についての報告を求めます。岩渕生涯学習課長お願いします。</p> <p>報告事項(2)大麻体育館耐震診断結果について、中間報告に基づきご説明いたします。</p> <p>昭和56年5月以前に適用されていた旧耐震基準に基づき設計された建物は、現在の基準に見合った建物の安全性を確認するために、設計図書や現地調査に基づく耐震診断を実施する必要があります。</p> <p>大麻体育館は昭和54年建設の第一体育室棟と、昭和40年代建設の旧公民館並びに大麻出張所棟が耐震診断実施の対象となっております。このため、今年5月から6月にかけて、耐震診断を実施いたしました。調査内容は、コンクリートコア採取、鉄骨柱脚調査、目視調査並びに鉄骨部材の調査であります。</p> <p>診断結果につきましては、第一体育室棟では、最上階は桁梁材の耐力不足、1階は桁梁材接合部の耐力不足、役員室、器具庫はブレース接合部の耐力不足により、倒壊の危険性があるとされました。</p> <p>旧公民館棟におきましても、構造耐震指標が判定値を下回り、耐震性に疑問があるとの結果が出ております。</p> <p>それでは資料をご覧ください。施設平面図下部に掲載のA0からF軸組図は、第一体育室を南北に縦断した軸となり、A0軸通りは役員室、器具庫に該当します。A軸からF軸までは、第一体育室の桁梁部となっております。</p> <p>平面図右側掲載の1から7通り軸組図は、第一体育室を東西に横断した軸であり、1と7軸は上層の耐力不足指摘箇所を示したもので、2から6軸は同じく上層階の耐力不足と東西両側柱の指摘箇所でございます。以上です。</p>
長谷川委員長	<p>ただいま報告のありました大麻体育館耐震診断結果について、質問等がございましたらお願いします。</p>
上野委員	<p>体育館と旧公民館で、耐力不足があるということなのですが、今回出張所は関係ないんですか。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>今回、出張所も耐震診断を行っておりますけれども、所管は生活環境部になりますので、今後どうするか、総務部も含めて協議していくこととなります。</p>
長谷川委員長	<p>今回の検査で耐力不足が判明して、桁からとなると、相当大掛かりな補強をしなければならないと思います。今後の予定についてはどのように考えていますか。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>予算も絡むこととなりますが、27年度に実施設計を行い、28年度には耐震の工事を行うという予算要求を考えています。ただ、今、耐震工事を行っておりますけれども、中間報告の説明を受けた中では、市民体育館の工事よりも大掛かりになると聞いています。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはございませんか。野幌にある市民体育館と比べると、こちらのほうが古いんですか。</p>
岩渕生涯学習課長	<p>第一体育室棟については、同じ年度になります。旧公民館のほうは、市民体育館よりも古いです。</p>
長谷川委員長	<p>ほかはございませんか。なければ、本報告について終了してよろしいですか。</p>

<p>長谷川委員長 大村総務課長</p>	<p>(一同了承) 続いて、2の審議事項に入ります。 平成26年議案第49号江別市教育委員会教育長の勤勉手当の支給割合引上げに係る意見についての説明を求めます。大村総務課長お願いします。 議案第49号江別市教育委員会教育長の勤勉手当の支給割合引き上げに係る意見についてをご説明いたします。 資料の4ページをご覧ください。これは、江別市長が平成26年第4回定例市議会において、江別市職員の給与に関する条例及び江別市特別職の職員の給与に関する条例などの一部改正をするにあたり、教育長の給与等の条例もこれらにあわせ改定する必要性が生じたことから、当委員会に、地方教育行政組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、当該条例の一部改正について意見を求めてきたものであります。 資料の3ページをご覧ください。今回、市長部局が市議会に提案を予定しております江別市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正案の概要です。 地方公務員の給与の決定につきましては、国及び他の地方公共団体並びに民間給与との均衡を図ることとされており、江別市はこれまでも、人事院勧告を尊重するとの基本姿勢に立ち、国家公務員の取扱いに準拠するとともに、教育長の給与につきましても例月の給与を除き同様の取扱いとしてきました。 本年8月7日付けの人事院勧告では、公務と民間の給与比較の結果、民間事業所における好調な支給状況を反映して、民間が公務を上回ったことから給与の引上げをすることとしております。江別市といたしましても、この人事院勧告に準拠し、一般職については、国家公務員に準じて給料表の水準を引き上げるほか、勤勉手当の年間支給率を0.15月分引き上げ、期末勤勉手当年間支給率の計を4.1月とし、また、特別職においても一般職の支給率に準じ期末手当の年間支給率の引上げを行うことから、教育長に支給する勤勉手当の年間支給率割合を同様に引き上げようとするものです。 それでは、改正内容につきましてご説明いたします。資料の1ページをご覧ください。改正内容の(1)平成26年12月の支給率であります。勤勉手当を従来の0.675月分から0.825月分にする。0.15月分を増額いたします。また、平成27年以後につきましては、勤勉手当の支給割合を(2)の表にありますように、6月と12月の支給率を0.675月分から0.75月分にする。それぞれ0.075月分を増額することによって、年間支給額を0.15月分増額いたします。 資料の5ページ、6ページは条例改正にかかる新旧対照表であります。5ページは平成26年12月の支給割合について、6ページは平成27年4月以降の支給割合について記載しております。 また、改正後の条例の施行年月日であります。平成26年12月の支給に係る規定は平成26年12月1日とし、平成27年4月以後の支給に係る規定は平成27年4月1日としております。以上、概略をご説明いたしましたのでよろしくご審議いただきますようお願いいたします。</p>
<p>長谷川委員長 上野委員 大村総務課長 長谷川委員長</p>	<p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。 国に準じた部分ですが、石狩管内を含めて道内では同じ月数を増額するような動きなんですか。 他市町村においても、人事院勧告どおり実施する予定だと思えます。 ほかはいかがですか。それでは、平成26年議案第49号を承認することとし、今回の意見聴取の内容については、教育委員会として承認する旨の意見書を提出することにご異議ありませんか。</p>
<p>伊藤学校教育課長</p>	<p>(一同了承) それでは、そのように承認いたします。 次に、平成26年議案第50号江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問についての説明を求めます。伊藤学校教育課長お願いします。 議案第50号江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問について、ご説明いたします。 江別市立江別小学校と江別市立江別第三小学校の統合につきましては、地域やPTA関係者等との協議が整ったことから、本年5月27日の定例教育委員会におきまして、統合</p>

伊藤学校教育課長	<p>に伴う江別市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定についてご審議いただいたところであります。</p> <p>この条例の一部を改正する条例は、平成26年第2回江別市議会定例会最終日の6月24日に可決されたところであります。</p> <p>これに伴い、平成28年4月1日に江別小学校と江別第三小学校が江別第一小学校に統合となりますので、江別小学校と江別第三小学校の児童の通学区域に変更が生じることとなります。また、現在は、江別小学校の児童は江別第一中学校に、江別第三小学校の児童は江別第三中学校に入学しておりますが、中学校における通学区域に変更が生じることにもなります。</p>
長谷川委員長	<p>このため、江別市立小学校及び中学校通学区域審議会において、通学区域の変更に関することについて審議していただくため、記載のとおり諮問いたしたいのでご承認のほどよろしくお願ひします。以上です。</p> <p>ただいま説明のありました本件に対する質問等がございましたらお受けします。</p> <p>(なし)</p> <p>それでは、平成26年議案第50号江別市立小学校及び中学校通学区域変更の諮問についてを承認することにご異議ありませんか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>それでは、そのように承認いたします。</p>
金子学校教育支援室参事	<p>続いて、3のその他に入ります。各課所管事項(1)中学生サミットの開催についての説明を求めます。金子参事お願ひします。</p> <p>本年度のえべつ中学生サミットの開催についてお知らせします。</p> <p>えべつ中学生サミットは、市内中学校の生徒会が一堂に会し、発表や意見交換を行う場として、平成20年度より毎年1回開催しておりますが、7回目となる今年度は、11月20日木曜日、午後2時から、市民会館小ホールを会場に開催されることとなりました。</p> <p>今回も昨年に引き続き、各校からえべつ中学生サミット宣言に基づいて取り組んでいる内容や学校独自の特色ある取組、またいじめ根絶に向けた取組や考え方について順番に発表し、意見交換をすることになっております。司会進行は中学生が自ら行うこととなり、今年度につきましては江陽中学校と中央中学校が担当します。</p>
長谷川委員長	<p>ご都合がございましたら、ぜひご来場いただきますようお願い申し上げます。以上です。</p> <p>本件に対する質問等がございましたらお受けします。ご都合のつく方は、それぞれ参加してください。</p>
大村総務課長	<p>次に、次回定例教育委員会予定案件及び日程について説明願ひします。</p> <p>次回の教育委員会の案件でございますが、報告事項として、平成26年度中学生国際交流事業について、審議事項として、平成27年度江別市一般会計教育予算要求案についてなどを予定しております。</p>
長谷川委員長	<p>また、次回、定例教育委員会の日程でございますが、11月25日火曜日、午後2時からと考えておりますが、各委員のご都合等はいかがでしょうか。</p> <p>今ありましたように、次回の定例教育委員会を11月25日火曜日、午後2時からということで、皆様のご都合はいかがですか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>以上をもちまして、第10回定例教育委員会を終了いたします。</p> <p>(閉会)</p>

終了 午後2時30分

署名人(委員長) 長谷川 清明

署 名 人 橋本 幸子